

★関東アコ20周年記念企画コーナー★

“Music”合同演奏練習始まる・・・本邦初演！！



7月12日（日）柴崎和圭先生ほか27名が集まり2回目の練習を実施しました。

□この曲について・・・その2(柴崎先生の講義より)

この曲には歌詞があり、副題に「マイ ファースト ラブ」とあります。

音楽は私の初恋、そして音楽に対する私の思いは果てることなく続くだろう

音楽は私の思い出、そして私の未来

私の音楽は、辛いことや苦しいこと

困難から私を乗り越えさせてくれるだろう

というような歌詞を書いています。

この歌詞を書いた人は、『私は思います、音楽とはあなたにとって苦しいときや辛いとき、困難なそのときにあなたのそばに居てくれて、“きっと大丈夫だよ”とあなたをしっかりと見護り、そっと優しくあなたを包み込んでくれるものなのだ』そういうふうに解釈していますと書いています。

仕事の悩みとか、人生の悩みとかみなさんそれぞれ捉え方が違うと思いますが、今の時代にあった曲だと思います。皆さんのその想いを、いいことばかりではないと思いますが、その想いをつなげていって表現にしたらいいなあーと思っています。



□他のパートがなにをやっているかを知る。

1. まず、最初から練習番号①の終わりまで「アコーディオンIパート」の人達が弾くのを聴いてみました。次に、「アコーディオンIとIIパート」の人たちが弾くのを聴いてみました。その次に「エレクーンIパート、アコーディオンIVパート、ベース」が加わり、最後に「エレクーンIIとピアノパート」が加わり全体のパートを重ねてみました。

2. 次に、練習番号①を弾いてみます。13小節の途中からすごく綺麗な「エレクーンIパート」が入ってくる。そして、練習番号①から「アコーディオンIパート」もこの主旋律を助けるように入ってきて、「エレクーンIパート」と「アコーディオンIパート」の二重奏になってくる。それを助けていくのが、みなさんの“パンパンパン”だったり“和音”だったりします。



手を上げているのは合同練習初参加の人たち(約半数が初めてでした)

まず、「アコーディオンI」だけで、次に「アコーディオンIIとエレクーンI」が加わり、そこに「アコーディオンIVとベース」が加わり、最後に「エレクーンIIとピアノ」が加わり全体の演奏なる。・・・(練習はこんなふうに進みました)

3. **風景も大事な主役です**・・・最初から練習番号①の終わりまで、「エレクーンI」とか「アコI」のメロディーがすごく綺麗に輝いているんですが、その仕上げですけど、皆さんの

今鳴ったいろんな音、すごく大事な主役なんです。

例えば、「エレクトーンⅠ」とか「アコーディオンⅠ」が綺麗な蝶だとすると、皆さんは風景なんです。どんなに綺麗な希少価値のある、世界にこれしかない何かきらきらした蝶が飛んでいたとしても、下が泥沼だったとしたらあまり綺麗ではない。そこに花があったり、綺麗な水が流れていたり、そういう風景を担当するのが今やった“和音”なんです。和音”がどのように盛り上げてどのように風景をつくっていくのだから、“自分達がつくって行くんだ”という意識を持ってください。『皆さんが主役です』そうしないと「アコーディオンⅠ」とか「エレクトーンⅠ」がメロディー弾いてもあまり映えて来ないんです。

4. 練習番号②の前「フェルマータ」 ♩ の終わりは“ベローストップ”で！

もし音が残っちゃっても、“あっ、いけないと思って指をパット離さない”・・・そおっと下から支えてあげる。(寝転がる人を一瞬そおっと一緒に行きながら支えてあげる感じ)

5. 練習番号④フォルテッシモでさらに音符の上にアクセント記号 ▲ が付いているところは、テニスの選手が球を打ち返すとき“ハッ”と声を出して瞬間、力が入ったボールを飛ばすように声を出して叩き落すイメージで練習してコツをつかんでみる。



アコⅠパートの練習



アコⅢパートの練習



エレクトーンⅠパートの練習

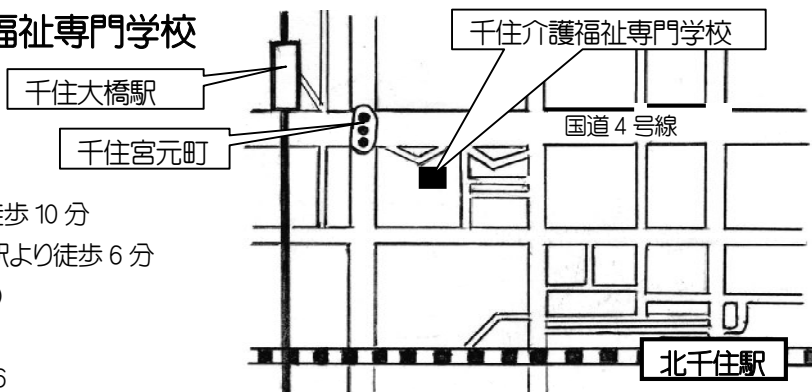


アコⅣパートの練習

□『毎回新しい発見があるから楽しみ』、『印象的なフレーズがつながっているから楽しい』、『パートの人数が増えると弾けないものが弾けるようになってくるから不思議』などの感想がありました。

＝次回（第3回）合同演奏練習日程＝ 8月16日(日)13:00～

会場:千住介護福祉専門学校



交通

★北千住駅西口より徒歩10分

★京成本線千住大橋駅より徒歩6分

(快速は通過します)

■当日の連絡先

築山 070-5517-7156

池田 090-8108-2095

至日暮里駅

至我孫子

